

国際連語論学会 10 月例会

日時：2017 年 10 月 14 日（土）16：00～18：00

場所：大東文化会館 k-403

ヒト：高橋弥守彦（大東文化大学名誉教授）

テーマ：文頭の副詞

概要：中国語の副詞は一般に文中で動詞（例 1）や形容詞（例 2）の前に用いられ、それらを修飾する。また、文頭に用いられ修飾（例 3）と心的態度（例 4）を表す場合もある。

- (1) “对, 重来!” 于是, 巧克力到平平嘴里了, 仪式重又进行。(『人民』90-7-98)
「ウン、やりなおしだ！」それでチョコレートはピンピンのお口へ。儀式はまた始まりました。(同上)
- (2) 从声音里听得出, 你的心情非常紧张。(『人民』88-3-91)
その声からすると、あなたはひどく気持ちが高ぶっているようですね。(同上)
- (3) 忽然面前一道耀眼的蓝光, 还没弄清是怎么回事, 胖胖已被蒋阿姨挽住。(『人民』90-4-98)
とつぜん、ぱっと青い光がひらめいた。なんだろうと思う間もなく、胖胖は蒋おばさんにつかまっていた。(同上、90-4-99)
- (4) “一万元” 王老五老汉鼓足勇气, 其实心里根本没准儿。(『人民』90-1-98)
「一万元！」親父は勇を鼓していったが、じつはなんの根拠もない。(同上、90-1-99)

本稿では、先行研究と例文の分析とにより、文中と文頭とに用いられる中国語の副詞を分析し、どういう種類の副詞が文頭に用いられ修飾と心的態度を表すのかと、副詞の主たる機能である修飾と心的態度との関係を検討する。